

兵庫県のカキムシ (1)

(兵 庫 県 甲 虫 相 資 料 ・ 2 5 4)

高 橋 寿 郎

カキムシ科 (Alleculidae) のものはゴミムシダマシ科によく似たグループでその特徴として觸角は糸状まれに櫛状、爪は櫛状があげられている。これ等の区別点並びに幼虫が大変良く似ている点などから独立の科として取扱うことは若干の疑問がある。

日本産のこの仲間の研究は1876年 Marseul が9新種の記載をされたのに始る。次いで G. Lewis が7新種をふくむ11種の記載をされた。これによって日本産のこの類の概畧がまとまったように感じる。その後野村 鎮氏 (1961, 1963)、中根猛彦博士 (1955, 1963, 1968) の研究並びに図説があるが残念ながら綜説のようなものはまだ無いように思われる。

1985年宮武陸夫博士は属までの検索を示されると共に19種を原色で図説された。そして日本産の本科のものは9属25種が知られているとされている。1989年出版の日本産昆虫総目録では2亜科10属30種が収録されている (C記号なのでこの数は日本産50~69%にあたる)。

兵庫県下にこの科のものがどの様に分布しているかと云ったまとめは今迄の所見られないように思われる。そこで此処に筆者の所有標本と従来 of 記録とを参考に県下のカキムシ科の現時点での分布を中心としたまとめをしておきたい。何分にも浅学未熟の筆者のこと故多くの誤り脱落があると考えられる。それ等に就いて御教示を頂くことが出来れば幸である。

またこの類の成虫は花に来るものが多く葉上などでも得られる。幼虫は樹皮下、朽木の中などに住んでいるが詳しい生活史が調べられている種は残念ながら見出せなかった。

Family Alleculidae カキムシ科

Subfamily Alleulinae カキムシ亜科

1. *Allecula cryptomeriae* Lewis, 1895 ホソオオカキムシ

本種は Chiuzenji, Nikko, Maebashi を産地に Lewis によって記載された種である (1895)。オオカキムシによく似た種である。中根博士 (1963)、宮武博士 (1985) による夫々原色図説がある。宮武博士によると夜間朽ち木にいるとある。

県下では中根博士により氷の山が記録されているだけである。県の山岳地帯には分布していると考えられるが良くわからない。

産地：養父郡氷の山〔中根, 1953〕*

2. *Allecula fuliginosa* Mäklin, 1875 オオクチキムシ

Mäklin によって記載された種であるが原記載を見ていないので何処の産のものかわからないが日本からの記載のようである。

Lewis は長崎、京都の産を報告された(1875)。Harold が記載した *Allecula obscura* (1876) 及び Marseul が長崎、摩耶山産で記載した *Allecula velutina* (1876) も共に本種のシノニムになる。

県下では大変普通に見られる種であり分布も広い。

産地：津名郡常隆寺山 (3exs., 20—IV—1994)〔宮武, 1973〕。洲本市先山〔宮武, 1973, 堀田, 1976〕、三熊山〔宮武, 1973〕、安平町〔堀田, 1978〕。川辺郡猪名川町槻並 (lex., 2—VII—1978, lex., 4—V—1979)。川西市見野, 大和, 笹部〔仲田, 1978, 1982〕。伊丹市〔河上, 1984〕。宝塚市切畑 (lex., 18—II—1979)。西宮市船坂 (lex., 21—V—1987, lex., 11—VI—1987, lex., 4—IX—1987)。神戸市 Maiyasan〔Marseul, 1875〕、一王山 (3exs., 22—IV—1978), 再度山 (2exs., 17—I—1919), 烏原 (lex., 30—V—1971, lex., 18—VIII—1974, lex., 31—VII—1977, lex., 22—VI—1980, 2exs., 7—VII—1980, lex., 28—VII—1980, lex., 2—IX—1980, lex., 27—V—1981, lex., 25—VII—1981, 2exs., 17—II—1982, lex., 24—V—1982, lex., 7—VI—1982, lex., 24—VI—1982), 奥平野 (3exs., 25—I—1985), 山の街 (2exs., 29—IV—1960), 藍那 (lex., 14—VII—1978, lex., 19—VII—1978, lex., 4—X—1978), 木津 (lex., 5—X—1984, 2exs., 26—X I—1984), 妙法寺 (lex., 25—VII—1972, 2exs., 2—VIII—1979), 須磨〔戸沢, 1984〕, 伊川谷 (lex., 4—VI—1988, lex., 2—VIII—1988), 多井畑 (lex., 11—VII—1990, lex., 26—VII—1990)。明石市明石公園 (2exs., 21—VI—1975, 3exs., 12—VI—1976, 2exs., 18—IX—1976, lex., 15—VI—1978, lex., 24—VI—1978)。三木市細川中 (2exs., 22—V—1985), 口吉川町 (lex., 7—V—1986), 笹原 (2exs., 26—IX—1986)。小野市山田 (lex., 27—VII—1987, lex., 7—VIII—1987)。美嚮郡吉川町 (lex., 30—V—1985, lex., 11—VII—1985)。加東郡東条町森 (7exs., 29—IV—1984, lex., 11—V—1984, 2exs., 7—VI—1984), 社町三草 (4exs., 16—IV—1987, lex., 22—V—1989, lex., 1—VI—1989)。多可郡白山 (lex., 27—V—1973), 三谷 (lex., 8—VI—1975)。飾磨郡夢前町我孫子 (lex., 5—VIII—1973), 家島〔上田, 1981〕。龍野市神岡町 (2exs., 21—VII—1988)。相生市三湊山 (lex., 20—VII—1974)。佐用郡

* 産地の中で〔 〕のものは文献からの引用、()のものは筆者所有標本。

瑠璃寺 (lex., 15—IX—1971), 大撫山 (2exs., 2—V—1978)。宍粟郡福知溪谷 (lex., 20—VI—1976), 水谷 (lex., 17—VII—1981), 音水 (lex., 16—VII—1972, lex., 11—VII—1978)。水上郡〔山本, 1958〕。豊岡市旭市〔高橋, 1975〕。城崎郡城崎町8 lex., 25—X—1978), 日高町奈佐路 (2exs., 25—X—1985)。養父郡氷の山 (lex., 21—VII—1959)。美方郡扇ノ山〔辻, 岸田, 1972〕。

3. *Allecula melanaria* Mäklin, 1875 クチキムシ

本種も Mäklin によって記載されている (1875)。原記載を見ていないので何処産かわからない。Lewis は Yokohama, Nagasaki を記録された (1895)。Marseul が長崎産 *Allecula rufipes* として記載された種 (1876) は本種のシノニムとなる。

分布は広く日本全国である。野村氏は石垣島から記録しておられる (1980)。

兵庫県下にも分布は広いが個体数がオオクチキムシより少いようである。マツなどの朽ち木に多く見られる。

産地：津名郡常隆寺山〔宮武, 1973〕。三原郡諭鶴羽山〔宮武, 1973〕, 煙島〔登日, 1982〕。川辺郡猪名川町上阿古谷〔仲田, 1970, 1978〕, 槻並 (2exs., 4—V—1979)。川西市一の鳥居 (lex., 22—VI—1952), 笹部, 横地〔仲田, 1978, 1982〕。神戸市六甲山 (lex., 10—VI—1955), 烏原 (2exs., 10—VI—1956, 2exs., 29—IV—1960, lex., 29—V—1977, lex., 5—V—1980, 2exs., 10—V—1981, lex., 21—V—1981, lex., 23—V—1981, lex., 8—VI—1982, lex., 13—VI—1982, lex., 5—X—1982, lex., 13—X—1982, lex., 25—IV—1983, 2exs., 12—V—1983, lex., 23—V—1983, lex., 14—VII—1983, lex., 4—X—1983, lex., 1—X—1984, lex., 5—IV—1985, lex., 1—V—1985, lex., 11—VI—1990), 藍那 (lex., 5—VI—1978, lex., 10—XI—1981), 奥平野 (17exs., 25—I—1985), 木津 (3exs., 26—XI—1984), 舞子 (lex., 23—III—1985), 伊川谷 (lex., 21—IX—1988, lex., 28—IX—1988), 多井畑 (lex., 27—IX—1990)。明石市明石公園 (lex., 15—VI—1975)。三木市口吉川 (lex., 14—VII—1986)。小野市山田 (lex., 8—VI—1987, lex., 22—VII—1987, 5exs., 17—IX—1987)。加東郡社町三草 (2exs., 16—IV—1987)。相生市三濃山 (lex., 18—V—1974)。宍粟郡音水 (lex., 11—VI—1974)。多紀郡西紀町 (lex., 20—IV—1982)。養父郡氷の山 (4exs., 2—VII—1953)。美方郡扇ノ山〔辻, 1963, 辻, 岸田, 1972., 高橋, 1975〕。

4. *Allecula noctivaga* Lewis, 1895 ホソクロクチキムシ

Lewis が Kashiwagi 産で記載された種である (1895)。

中根博士によって図説(1963)されている。

兵庫県下での記録が全く無い。もっと調査をしないといけない種である。

産地：相生市三濃山 (lex., 6—VI—1974)。

5. *Allecula simiola* Lewis, 1895 ウスイロクチキムシ

Lewis が Kashiwagi, Nikko 産で記載された(1895)。Marseul が Hiogo を原産地として記載された *Allecula bilamellata* は本種のシノニムとなる(1876)。

一般に樹葉上に見られる。県下にも広く分布している種のようなのである。

産地：川辺郡猪名川町杉生新田〔仲田, 1982〕。西宮市船坂(7exs., 5—VI—1987, 4exs., 11—VI—1987)。Hiogo〔Marseul, 1876〕。神戸市藍那(2exs., 8—VI—1969), 烏原(2exs., 12—VI—1980, lex., 15—VI—1980, lex., 16—VI—1980, lex., 4—VII—1980, 2exs., 4—VI—1982, lex., 5—VI—1982, lex., 9—VI—1982, 2exs., 11—VI—1982), 伊川谷(4exs., 7—VI—1988, lex., 6—VII—1988), 多井畑(2exs., 19—VI—1980)。三木市細川中 (lex., 30—V—1985, lex., 11—VII—1985), 口吉川町(7exs., 3—VII—1956, lex., 14—VII—1986)。美嚢郡吉川町 (lex., 27—VI—1985, 3exs., 30—V—1985, 2exs., 6—VI—1985), 吉川町奥山 (lex., 10—VI—1986, lex., 19—VI—1986)。加東郡東条町森 (lex., 7—VI—1984)、社町三草(2exs., 17—VI—1987, 3exs., 24—VI—1987, 4exs., 1—VI—1989, lex., 6—VII—1989)。多可郡白山 (lex., 27—V—1973), 鳥羽 (lex., 1—VI—1975)。神崎郡笠形山(2exs., 16—VI—1975), 大河内町川上 (lex., 15—VII—1977)。龍野市神岡山 (lex., 13—VI—1988, lex., 22—VI—1988)。相生市三濃山 (lex., 6—VII—1973, 8exs., 8—VI—1974, lex., 16—VI—1974, lex., 20—VII—1974)。宍粟郡音水 (lex., 5—VII—1973, 2exs., 24—VI—1973)。養父郡氷ノ山〔高橋, 1975〕。

6. *Allecula tenuis* Marseul, 1876 ホソアカクチキムシ

Marseul が Hiogo を原産地に記載された種である(1876)。県下では山地帯に分布しているように海岸線ぞいの記録が全くない。中根博士(1963)、宮武博士(1985)の原色図説がある。

産地：Hiogo〔Marseul, 1876〕。多可郡白山 (lex., 27—V—1973)。宍粟郡音水 (lex., 15—VII—1973)。氷上郡〔山本, 1958〕。美方郡扇ノ山〔辻, 1963, 辻, 岸田, 1972〕。

7. *Borboresthes acicularis* (Marseul, 1876) クリイロクチキムシ

Marseul が Hiogo 産で *Allecula* 属で記載された種である(1876)。

県下での記録は多くないが注意すれば広く産すると考えられる。

葉上にいる種でとくに神戸市内では多い。

産地：川西市笹部、大和、横地〔仲田，1978，1982〕。Hiogo〔Marseul，1876〕。神戸市烏原（lex.，13—VI—1971，lex.，7—VII—1977，lex.，11—VI—1980，lex.，14—VII—1980，lex.，21—VII—1980，lex.，9—VIII—1980，lex.，25—VI—1981，lex.，29—VI—1981，lex.，8—VI—1981，2exs.，9—VI—1981，2exs.，10—VI—1982，lex.，21—VI—1982，2exs.，24—VI—1982，3exs.，26—VI—1982，lex.，28—VI—1982，lex.，2—VII—1982，lex.，4—VII—1982，lex.，5—VII—1982，lex.，9—VII—1982，lex.，13—VII—1982，lex.，19—VI—1983，lex.，22—VI—1983，lex.，23—VI—1983，lex.，28—VI—1983，lex.，11—VII—1983，lex.，6—VII—1984，lex.，14—VIII—1984），逢山峡（lex.，2—VII—1982，2exs.，1—VII—1986），伊川谷（2exs.，6—VI—1988）。明石市明石公園（lex.，21—VI—1975）。三木市美囊川々原（lex.，25—VI—1979），細川中（lex.，1—VIII—1985），口吉川町（lex.，14—VII—1986）。加東郡社町三草（lex.，6—VII—1989）。

尼崎西南部の昆虫（その4）

新 家 勝

VI Hymenoptera膜翅目

1. Siricidae キバチ科

(1) *Tremex fuscicornis* Fabricius ヒラアシキバチ

1944.10.8

武庫川堤防上のエノキの大木に産卵していたもの。地上約1 m以下の樹幹に多数の♀が産卵管をさしこみ、人が近づいても逃げられない状態であった。そして、あるものは既に死んでおり、あるものは飛び立とうとしてもがいていた。後日、見ると多数の産卵孔があいていた。

2. Tenthredinidae ハバチ科

(1) *Dolerus hordei* Rohwer ムギハバチ

1946.4.10

(2) *Pachyprotasis serii* Okutani セリシマハバチ

1947.4.19